

- ◆企画名 コアラ☆ミュージアム～第6弾～㊄・●・㊄&手話サークル「あっぷる」
日程 平成26年4月1日(火)～5月29日(木)
場所 関西大学総合図書館内4か所
参加者数 14名(ピア・サポーター8名、手話サークル「あっぷる」6名)
目的

- 学内課外活動団体の活動公開の場の提供
- 来館した学生の図書館への興味・関心を広げる
- 図書館に読書、学習スペース以外の空間づくり

内 容

●本企画は、手話サークル「あっぷる」とピア・コミュニティ「KU コアラ」との連携企画である。図書館内に手話サークル「あっぷる」の活動写真を展示し、学生にその活動の様子や楽しさを伝える。手話に関する活動に興味を持ってもらうきっかけを提供する。

●展示場所

①1階エントランスカウンター前②1階トイレ付近③階段④2階開架閲覧室

●広報

インフォメーションシステム、ポスター掲示、授業内宣伝を行った。

授業内宣伝では図書館広報誌 KULione を配布し、本企画の広報と合わせて KU コアラの活動近況報告も行った。

●評価方法

回収 BOX に投函してもらう紙のアンケートと併用するものとして、展示場所にポスターとシールを設置し、観覧した学生自身にその場でシールを貼って4段階に評価してもらった。ポスターは、本企画自体に対する感想を問うものと各展示写真に対する場所毎の感想を問うものとの2種類を制作した。

効 果

●1階エントランスのガラスに外向きに貼り付けることで、図書館の外の人へアピールすることができた。

●ポスターとシールによる評価について、シールの貼付が最も良い1、次によい2に多く見られたことから、コアラ☆ミュージアムがおおむね高評価であることが分かった。

●手話サークル「あっぷる」の活動を広く学生に知っていただき、知名度の向上に一役買うことができた。

改 善 点

●スケジュール管理が甘く、KU コアラ内での連絡の遅延や作業の的確さを欠いたため、企画進行に遅れと焦りが生じた。今後はメンバーと密に連絡をとり、細かい点まで気を配った計画を準備段階で練っておくことが求められる。

●新しく取り入れたポスターでの評価には多数のシールが貼られていたのに対し、紙のアンケートの回収率は今年も15枚中3枚と低かった。今後実施するにあたり、計画は詳細まで決定しておく必要と、紙のアンケートに代わるニーズ収集方法を考える必要がある。

感 想

今回初めてミュージアム班として企画班を構成し、副室長と責任者を兼任して運営を行った。半年という短いスパンでのやりくりで翻弄された時期もあったが、搬入時において最後の確認作業を行ったときには大きな達成感を得ることができた。ポスターでのアンケート機能や図書館外へ向けての作品展示は大変好評であったため、今後も続ける価値がある。次回実施する際の責任者には1年ほどのスパンを確保し、綿密な計画のもと、今何をすべきかを明確にしてから実行に移してほしい。